

シリーズ
幼・保・小・中

一貫教育

プロジェクト

今回は、プロジェクトの研究部会
 について説明します。

このプロジェクトでは五つの研究部会を設置し、それぞれ調査研究を進めています。各部会とも活動が始まって三カ月が過ぎようとしています。阿久比町の実態を把握し、良い点や課題が少しずつ明らかになり始



草木小学校と草木保育園の交流会

めています。
 各研究部会での調査研究内容・進捗状況について説明します。

八 研究部会

(一) 幼児教育研究部会

調査研究内容

- ・ ゼロ歳から六歳までの家庭における望ましい育児の在り方をそれぞれの年齢ごとに明らかにします。
- ・ ゼロ歳から六歳までの保育園・幼稚園における生活習慣・学習習慣の在り方をそれぞれの年齢ごとに明らかにします。
- ・ 望ましい食育の在り方をそれぞれの年齢ごとに明らかにします。
- ・ 幼稚園・保育園と小学校のギャップの現状とその対策を明らかにします。
- ・ 進捗状況
- ・ 次の内容について、幼稚園・保育園の保護者・保育士・教諭を対象に二月上旬にアンケート調査を行い、阿久比町の現状を把握しています。今後はその結果を分析し、



飾りを作る幼稚園児

生活習慣・学習習慣・食育研究部会と調整を図った上で、阿久比町すべての六歳になる幼児の望ましい姿を設定します。
 アンケートの内容は次の通りです。

- ア 育児の実態について
 - ・ 就寝時刻、起床時刻
 - ・ 朝食を中心とした食習慣の実態
 - ・ おむつ外し、衣服の着脱、整頓など子どもの自立に向けた保護者の意識
- ・ あいさつ
- ・ テレビを見たり、テレビゲームをやったりしている時間
- ・ 友達とのかわり
- ・ 父親とのかわり
- ・ 読書習慣など
- イ 園での実態（子どもの実態と保育士・教諭の指導の実態）
 - ・ 身辺自立
 - ・ マナー



栄養士による家庭科の授業

- ・ 遊び
- ・ 小集団の活動
- ・ 思いやりの心をはぐくむための指導
- ・ 命の大切さを知らせる指導など
- (二) 生活習慣・学習習慣・食育研究部会
- 調査研究内容
 - ・ 七歳から十五歳までの家庭・学校それぞれにおける望ましい生活習慣・学習習慣の在り方についてそれぞれの年齢ごとに明らかにします。
 - ・ 七歳から十五歳までの家庭・学校それぞれにおける望ましい食育の在り方を明らかにします。